

北しりべし広域クリーンセンター次期運営委託業務
事業者選定

審査講評

令和3年12月9日

北しりべし広域クリーンセンター次期運営委託業務
民間事業者選定に係る公募型プロポーザル選定委員会

北しりべし広域クリーンセンター次期運営委託業務（以下「本業務」という。）における民間事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、北しりべし広域クリーンセンター次期運営委託業務民間事業者選定に係る公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）が設置された。

令和2年8月に第1回選定委員会を開催し、約1年半にわたって要求水準書などの募集要項について審議を重ねるとともに、応募グループ（以下「応募者」という。）の提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、優先的に交渉を行う者（以下「優先交渉権者」という。）を選定した。

本審査講評は、選定委員会におけるこれまでの審議や審査の過程及び審査の結果について公表するものである。

北しりべし広域クリーンセンター次期運営委託業務
民間事業者選定に係る公募型プロポーザル選定委員会

委員長 小林 三樹

副委員長 近久 武美

委員 七戸 利昭

委員 松井 宏幸

－ 目 次 －

1. 総則	1
1) 業務の概要	1
(1) 業務概要	1
(2) 業務の名称	1
(3) 業務の場所	1
(4) 運営期間	1
(5) 対象施設	1
(6) 施設概要	2
2. 審査の方法	4
1) 審査体制	4
2) 審査及び契約締結までの流れ	4
3) 資格審査	6
4) 競争的対話	6
5) 提案審査	6
(1) 基礎審査	6
(2) 非価格要素審査	6
6) 評価項目と配点	6
3. 選定委員会の開催及び審議等の経過	9
4. 審査結果	10
1) 資格審査	10
2) 競争的対話	10
3) 提案審査	10
(1) 基礎審査	10
(2) 非価格要素審査	10
(3) 価格要素審査	15
(4) 総合的な評価	15
5. 総評	16

1. 総則

1) 業務の概要

(1) 業務概要

本業務は、北しりべし廃棄物処理広域連合（以下「広域連合」という。）の構成市町村から排出される処理対象ごみを令和4年度から15年間にわたり、北しりべし広域クリーンセンター ごみ焼却施設及びリサイクルプラザ（以下まとめて「本施設」という。）において適正（安定的、経済的、衛生的かつ安全）に処理するとともに、民間の創意工夫による提案を取り入れた良質な運営管理と経費の効率化を図ることを目的として、民間事業者に包括的に委託するものである。

(2) 業務の名称

北しりべし広域クリーンセンター次期運営委託業務

(3) 業務の場所

北海道小樽市桃内2丁目111番地2

(4) 運営期間

運営準備期間：契約締結日 ～ 令和4年3月31日まで

運営期間：令和4年4月1日 ～ 令和19年3月31日 15年間

※ 広域連合は、令和5年度から令和8年度にかけて本施設の基幹的設備改良工事の実施を予定している。基幹的設備改良工事期間において、民間事業者は、広域連合及び基幹的設備改良工事請負事業者と連携を図り、適切に本施設の運営を行うこと。また、民間事業者は、基幹的設備改良工事の内容を踏まえ、本施設の維持補修を行うものとする。

(5) 対象施設

- ① ごみ焼却施設
- ② リサイクルプラザ
- ③ 計量棟2棟
- ④ 助燃油移送ポンプ室
- ⑤ スラグストックヤード棟
- ⑥ 外構設備

(6) 施設概要

表 1.1 本業務の対象施設【ごみ焼却施設】

施設稼働開始年度	平成 19 年 4 月	
敷地面積	約 52,826 m ² (リサイクルプラザを含む)	
建築面積	約 6,100 m ²	
延床面積	約 15,657 m ²	
建築仕様	工場棟構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造
炉形式	焼却設備	全連続燃焼式ストーカ炉
	灰溶融設備 【休止中】	電気式灰溶融炉
施設規模	焼却設備	197 t/日 (98.5 t/24h×2 炉)
	灰溶融設備 【休止中】	15 t/24h (2 基交互運転)
焼却設備	計量設備	トラックスケール (リサイクルプラザと共用)
	受入・供給設備	ピット&クレーン
	燃焼設備	ストーカ方式
	燃焼ガス冷却方式	廃熱ボイラー式
	排ガス処理設備	有害ガス除去 (乾式) + 薬剤噴霧 + バグフィルタ + 触媒脱硝
	通風設備	平衡通風方式
	余熱利用設備	発電設備 (1,990 kW/非常用発電設備を除く) 場内給湯
	給水設備	生活用: 上水 プラント用: 上水
	排水処理設備	プラント排水: 循環再利用 (無放流) ごみ汚水: 炉内噴霧 生活排水: 合併浄化槽にて処理後放流
	焼却灰処理設備	薬剤処理
	集じん灰処理設備	加熱脱塩素化 + 薬剤処理
	電気設備	高圧受電方式
計装設備	分散形制御システム	
灰溶融設備 【休止中】	前処理設備	ふるい装置 磁選装置
	溶融設備	電気式溶融炉
	ガス冷却設備	空気希釈式
	排ガス処理設備	バグフィルタ
	通風設備	平衡通風方式
	スラグ・メタル 冷却設備	スラグ: 水砕方式 メタル: 水冷方式
スラグ・メタル 搬出設備	コンベア・ヤード方式	
煙突	煙突高	59 m
構成施設	工場棟、計量棟 2 棟 (リサイクルプラザと共用)、助燃油移送ポンプ室、スラグストックヤード棟、外構設備 (リサイクルプラザと共用)	

表 1.2 本業務の対象施設【リサイクルプラザ】

施設稼働開始年度		平成 19 年 4 月
敷地面積		約 52,826 m ² (ごみ焼却施設を含む)
建築面積		約 6,069 m ²
延床面積		約 11,460 m ²
建築仕様		工場棟構造
鉄筋コンクリート造及び鉄骨造		
施設規模	不燃ごみ・粗大ごみ系統設備	36.0 t/5h
	缶系統設備	2.4 t/5h
	びん系統設備	6.0 t/5h
	ペットボトル系統設備	1.3 t/5h
	紙パック系統設備【休止中】	0.3 t/5h
	プラ製容器包装系統設備	6.7 t/5h
	紙製容器包装系統設備【休止中】	2.5 t/5h
	新聞・雑誌・ダンボール系統設備【休止中】	18.6 t/5h
	蛍光管系統設備	1,000 本/h 以上
電池類系統設備	—	
不燃ごみ・粗大ごみ系統設備	受入供給設備	ピット&クレーン及び直接投入併用方式
	破碎設備	低速回転式破碎機 高速回転式破碎機
	選別設備	機械選別 (鉄類・アルミ類・残さ類)
	搬出設備	鉄アルミ圧縮機
缶系統設備	受入供給設備	直接投入方式 破袋・除袋機
	破碎設備	スプレー缶破碎機
	選別設備	磁選機 アルミ選別機
	搬出設備	スチール缶圧縮機 アルミ缶圧縮機 ヤード貯留
びん系統設備	受入供給設備	人手による破袋及び生きびん回収
	選別設備	手選別
	搬出設備	ヤード貯留
ペットボトル系統設備	受入供給設備	直接投入方式 破袋・除袋機
	選別設備	手選別
	搬出設備	圧縮梱包、ヤード貯留
紙パック系統設備【休止中】		ヤード貯留
プラ製容器包装系統設備	受入供給設備	直接投入方式 破袋機
	選別設備	手選別
	搬出設備	圧縮梱包、ヤード貯留
紙製容器包装系統設備【休止中】	受入供給設備	直接投入方式 破袋機
	選別設備	手選別
	搬出設備	圧縮梱包、ヤード貯留
新聞・雑誌・ダンボール系統設備【休止中】		ヤード貯留
蛍光管系統設備		蛍光管破碎機 ヤード貯留
電池類系統設備		ヤード貯留
小型家電		ヤード貯留
その他設備		袋類処理設備 残さ処理設備
構成施設		工場棟 (プラザ棟を含む)

2. 審査の方法

1) 審査体制

事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、選定委員会を設置した。
選定委員会を構成する委員は、次のとおりである。

選任区分	氏名	所属・役職等
有識者 (委員長)	こばやし みつ な 樹 小林 三 樹	公益財団法人北海道環境財団 理事長
有識者 (副委員長)	ちか ひさ たけ み 美 近 久 武 美	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援 機構北海道支部北海道職業能力開発大学校 校長
市民委員	しち のへ とし あき 昭 七 戸 利 昭	小樽市桃内町内会 会長
行政委員※1	まつ い ひろ ゆき 幸 松 井 宏 幸 (阿部 一博)	小樽市生活環境部 部長

(備考：敬称略)

※1 松井委員は令和3年4月1日付人事異動に伴い前任者の阿部委員を引き継いだもの

2) 審査及び契約締結までの流れ

優先交渉権者の選定方法は、本業務の特性を踏まえ、価格のほかに経済性、安全・安定的なごみ処理の考え方、事故、災害などのリスク管理等を総合的に評価することから、総合的な評価を行う公募型プロポーザル方式により実施した。

契約締結までの流れは、図1に示すとおりである。

なお、優先交渉権者の選定にあたっては、より一層の公平性・透明性を高めるため、各委員に対して、提案書類によって応募者が特定できないよう審査を行った。

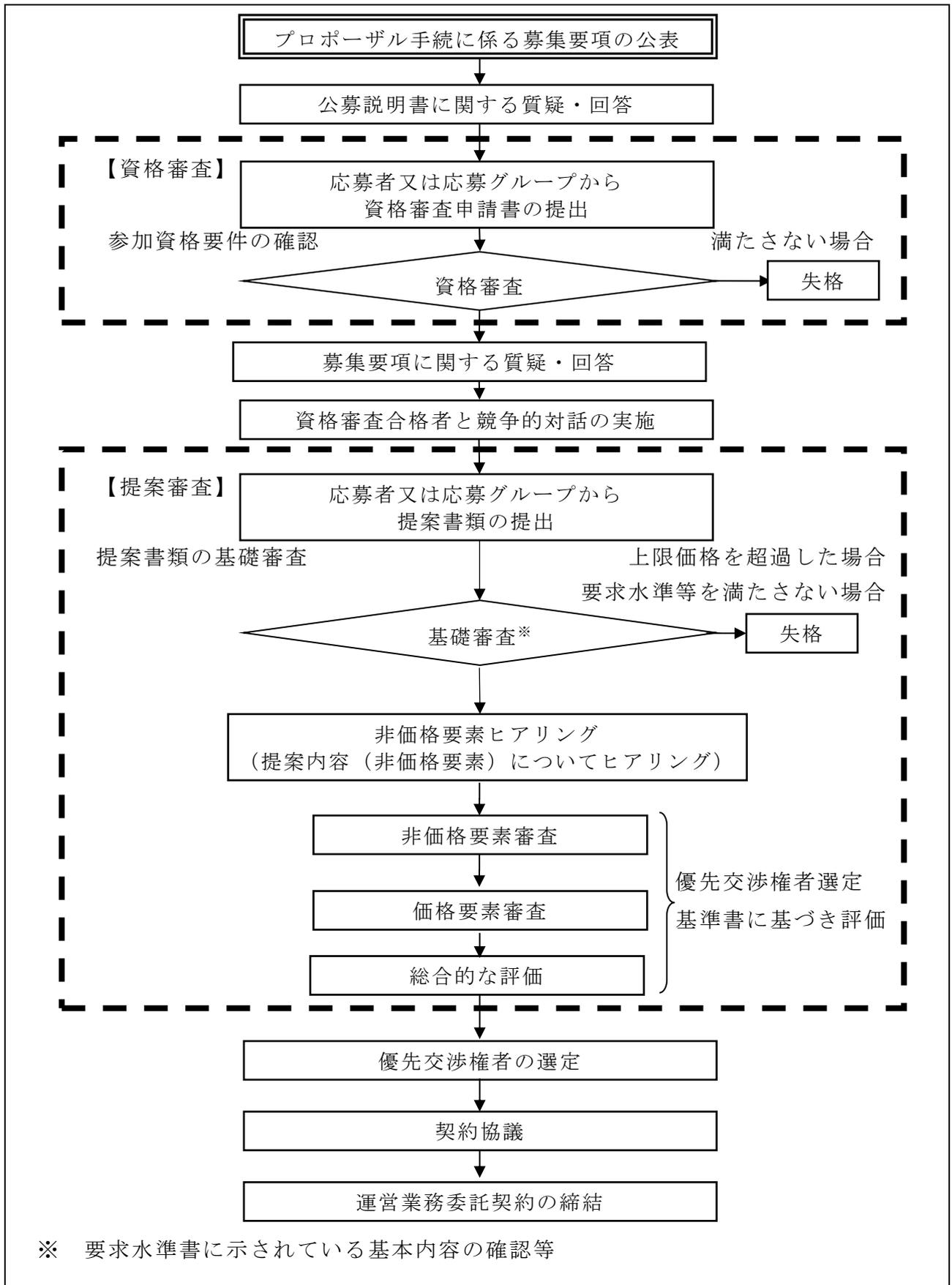


図1 民間事業者の選定フロー

3) 資格審査

資格審査では、応募者からの参加資格申請書等に基づいて、参加資格の確認を事務局にて実施した。

加えて提案内容の基本的な考え方を確認するため、提案概要書に関する競争的対話を実施した。

4) 競争的対話

競争的対話では、確実に発注者の意図（次期長期包括運営委託に関する事項）が応募者に伝わり、その意図が提案書に反映されるように、「広域連合が求める要求水準の確認」、「応募者の提案概要の考え方の確認」といった観点から、事務局と応募者が対話を実施した。

5) 提案審査

提案書類の審査方法は、以下のとおり実施した。

(1) 基礎審査

基礎審査では、要求水準書等に規定された性能要件を満たしているか否かの審査を事務局にて実施した。

(2) 非価格要素審査

(1)の基礎審査を通過した応募者を対象に、非価格要素提案書について審査し、非価格要素審査点を決定した。

なお、非価格要素審査に当たっては、提案内容に関する理解を深めるため、選定委員会によるヒアリングを実施した。

非価格要素審査点の配点は、60点とし、以下に示す各評価項目の得点の合算を非価格要素審査点とした。評価項目及び配点、採点基準は以下に示すとおりである。

6) 評価項目と配点

評価項目及び配点は表2に示すとおりである。

表2 非価格要素評価項目

評価項目	評価の視点	配点	
①運営、維持管理体制についての考え方	・運営管理の組織体制（管理体制・事業の監視体制等）及び施設の運転体制（運転人員の配置・有資格者の配置）に関して適切な提案がなされているか。	5	5点
②安全、安定的なごみ処理についての考え方	・広域連合における将来的なごみ量の変動（ごみ量の減少）に応じた経済性を損なわない運転計画が段階的に立案されているか。 ・広域連合における将来的なごみ質変動を想定して操炉上の対応策が具体的に提案されているか。	5	15点
	・年間の発電量、売電量を最大化するような運転計画が具体的かつ実現可能な提案であるか。	5	
	・安全、安定的なごみ処理を維持するための維持補修計画について、予防保全的な見地に立った適切な提案がなされているか。	5	
③長期包括運営委託の継続についての考え方	・本施設のこれまでの運営状況（施設の状況も含む）を理解した上で、本業務における新たな運営方針、方策が提案されているか。	5	10点
	・本業務期間終了後（令和19年4月以降）も広域連合が本施設の運営を継続することを前提として、本施設の維持補修計画の考え方が具体的に提案されているか。	5	
④経済的かつ効率的な運営業務についての考え方	・運営費（人件費、維持補修費、用役費など）の抑制に向けた方策について、具体的かつ実現可能な提案がされているか。	10	15点
	・基幹的設備改良工事を踏まえた、経済的かつ効率的な維持補修計画が適切に立案されているか。	5	
⑤事故、災害などのリスク管理及び対応についての考え方	・長期包括運営期間中のリスク管理、リスク管理体制が適切に立案されているか。 ・緊急時及び災害発生時における施設の迅速な復旧に向けた対応方法が具体的に提案されているか。 ・新型コロナウイルス等感染症拡大の状況下における業務継続にかかる対応方法が具体的に提案されているか。	10	10点
⑥地域、社会、環境への貢献についての考え方	・地元企業や地元人材の活用方法ならびに地域住民への配慮について適切な提案がなされているか。	5	5点

合計

60点

① 評価項目の採点基準

各評価項目において、次に示す5段階により評価、点数化した。

評価	評価内容	採点の算出方法
A	特に優れている	項目ごとの配点×1.00
B	AとCの間	項目ごとの配点×0.75
C	優れている	項目ごとの配点×0.50
D	CとEの間	項目ごとの配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	項目ごとの配点×0.00

1) 上限価格

上限価格を事前公表した。

上限価格 15,620,000,000円（消費税及び地方消費税の額を含む。）

14,200,000,000円（消費税及び地方消費税の額を除く。）

2) 価格要素審査

価格要素審査点の配点は、40点とした。

価格要素審査点については、以下の方法で得点を算定した。

なお、点数は、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求めた。

【価格要素審査点の算出式】

$$\text{価格要素審査点} = 40\text{点} \times \frac{\text{最低提案価格}}{\text{提案価格}}$$

3) 優先交渉権者の選定

非価格要素審査点と価格要素審査点から優先交渉権者選定基準書に定める総合的な評価方式により評価点を算定し、最も高い点数の者を「優先交渉権者」とした。なお、総合的な評価点の最も高い点数の者が2者以上あるときは、くじ引により優先交渉権者を選定することとした。

3. 選定委員会の開催及び審議等の経過

日程	主な内容
令和2年 8月25日 (火)	第1回選定委員会 実施方針(案)、事業者選定スケジュール(案)について審議
令和2年12月25日 (金)	第2回選定委員会 公募説明書(案)、要求水準書(案)、優先交渉権者選定基準(案)について審議
令和3年 3月16日 (火)	第3回選定委員会 第2回選定委員会指示事項への対応状況確認、様式集(案)、運營業務委託契約書(案)、今後のスケジュールについて審議
令和3年 4月 5日 (月)	募集要項の公表
令和3年 5月10日 (月)	資格審査に係る質問の受付締切
令和3年 5月17日 (月)	資格審査に係る質問への回答
令和3年 5月28日 (金)	資格審査申請書の受付締切
令和3年 6月 4日 (金)	資格審査の実施
令和3年 6月 4日 (金)	資格審査結果の通知
令和3年 6月11日 (金)	募集要項に係る質問の受付締切
令和3年 6月11日 (金)	募集要項に係る質問への回答
令和3年 7月15日 (木)	競争的対話の実施
令和3年 8月20日 (金)	技術提案書・価格提案書等の提出
令和3年 9月28日 (火)	第4回選定委員会 基礎審査結果の報告、非価格要素審査点の採点方法、第5回選定委員会までのスケジュールについて審議
令和3年11月 5日 (金)	第5回選定委員会 非価格要素審査、価格要素審査、総合的な評価、優先交渉権者の選定

4. 審査結果

1) 資格審査

表3に示す応募者から参加資格申請があり、資格要件を満たしていることを事務局にて確認した。

表3 応募者一覧

応募者	代表企業	構成企業（代表企業を除く）
Aグループ	日立造船株式会社 北海道支社	Hitz環境サービス株式会社

選定委員会においては、総合的な評価が終了するまで企業名を開示することなく、日立造船株式会社 北海道支社を代表企業とする応募者をAグループと呼称して審議を行った。

2) 競争的対話

応募者に対して、以下のとおり競争的対話を実施した。

実施日：令和3年7月15日（木）

会場：北しりべし広域クリーンセンター2階 研修室

実施要領：提案概要書の内容（独自のものなど）について確認	30分
事務局からの質問	20分
応募者からの質問	10分

3) 提案審査

資格審査を通過した応募者から、提出された提案書類の審査を実施した。

(1) 基礎審査

提案内容が要求水準書等に規定された性能要件を満たしているか否かの審査を事務局にて行った。

その結果、全ての要件に適合していること確認した。

(2) 非価格要素審査

非価格要素審査は、評価項目ごとに選定委員会において定めた採点方法により実施した。

また、非価格要素審査にあたっては、選定委員会によるヒアリングを次のとおり実施した。

実施日：令和3年11月5日（金）

会場：北しりべし広域クリーンセンター2階 研修室

実施要領：プレゼンテーション30分以内

質疑30分間程度

（合計で約60分以内とした。）

非価格要素審査の結果を表4、非価格要素審査の講評を表5に示す。

表4 非価格要素審査結果

評価項目	評価の視点	配点		Aグループ	
①運営、維持管理体制についての考え方	・運営管理の組織体制（管理体制・事業の監視体制等）及び本施設の運転体制（運転人員の配置・有資格者の配置）に関して適切な提案がなされているか。	5	5点	4.1	4.1点
②安全、安定的なごみ処理についての考え方	・広域連合における将来的なごみ量の変動（ごみ量の減少）に応じた経済性を損なわない運転計画が段階的に立案されているか。	5	15点	4.4	12.9点
	・広域連合における将来的なごみ質変動を想定して操炉上の対応策が具体的に提案されているか。	5		4.1	
	・安全、安定的なごみ処理を維持するための維持補修計画について、予防保全的な見地に立った適切な提案がなされているか。	5		4.4	
③長期包括運営委託の継続についての考え方	・本施設のこれまでの運営状況（施設の状況も含む）を理解した上で、本業務における新たな運営方針、方策が提案されているか。	5	10点	4.7	8.8点
	・本業務期間終了後（令和19年4月以降）も広域連合が本施設の運営を継続することを前提として、本施設の維持補修計画の考え方が具体的に提案されているか。	5		4.1	
④経済的かつ効率的な運営業務についての考え方	・運営費（人件費、維持補修費、用役費など）の抑制に向けた方策について、具体的かつ実現可能な提案がされているか。	10	15点	6.9	11.3点
	・基幹的設備改良工事を踏まえた、経済的かつ効率的な維持補修計画が適切に立案されているか。	5		4.4	
⑤事故、災害などのリスク管理及び対応についての考え方	・長期包括運営期間中のリスク管理、リスク管理体制が適切に立案されているか。 ・緊急時及び災害発生時における施設の迅速な復旧に向けた対応方法が具体的に提案されているか。 ・新型コロナウイルス等感染症拡大の状況下における業務継続にかかる対応方法が具体的に提案されているか。	10	10点	8.8	8.8点
⑥地域、社会、環境への貢献についての考え方	・地元企業や地元人材の活用方法ならびに地域住民への配慮について適切な提案がなされているか。	5	5点	4.1	4.1点

非価格要素審査点

60点

50.0点

表5 非価格要素審査の講評

評価項目	講評
①運営、維持管理体制についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・代表企業および構成企業による業務分担、責任の範囲が明確に区分されており、運転人員の配置ならびに有資格者の配置についても現在の長期包括運営委託の体制等を踏まえ、具体的な提案がなされていた。 ・代表企業の実績、経験に基づくバックアップ体制も具体的に提案されていた。
②安全、安定的なごみ処理についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的なごみ量の変動（ごみ量の減少）及びごみ質変動を踏まえ、経済性を考慮した具体的な運転計画が立案されていた。 ・ごみ焼却施設の運転においては燃焼制御等で応募グループ独自の提案がなされており、高い評価を得た。 ・リサイクルプラザの火災対策については、ハード面及びソフト面の双方で具体的に提案されていた。 ・発電可能な期間を長期化する運転計画が具体的に提案されており、売電可能な期間を最長化する独自の提案がなされていた。 ・維持補修計画については本契約期間を通じて評価、改善等が行えるように具体的な提案がなされていた。また、突発的な故障時の対応や性能を維持するための維持補修の考え方についても応募グループの実績、経験から適切に提案されており、高い評価を得た。
③長期包括運営委託の継続についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の本施設における運営状況を踏まえ、今後も安全、安定的な施設運営を継続していくための方策について、具体的な提案がなされていた。 ・本契約期間終了後においても本施設の運営継続を踏まえ、本契約期間終了前の維持補修計画について具体的な提案がなされていた。 ・本契約期間終了後の本施設の安定稼働を見据え、本業務の引継ぎスケジュールが具体的に提案されていた。
④経済的かつ効率的な運営業務についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・運営費（人件費、維持補修費、用役費など）の抑制に向けた方策について、具体的な提案がされており、特に人件費の最適化や大規模補修の抑制などの提案が評価された。 ・維持管理面では応募グループの独自技術に基づいて、運営管理の最適化、長寿命化が期待できる提案が評価された。

<p>⑤ 事故、災害などのリスク管理及び対応についての考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業期間中のリスク管理については、リスク分担を明確にすることで、リスク特性に応じたリスク回避、リスク低減が図られている提案であった。 ・事業継続性の面では広域連合が策定するBCPに基づいた対応策が立案されており、特に感染症対策などをはじめとした、事業継続性の担保が期待できるような提案が評価された。
<p>⑥ 地域、社会、環境への貢献についての考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業、地元人材の活用について、現在の運營業務を踏まえた具体的な発注計画が提案されていた。 ・本施設周辺地域の活性化について、具体的な提案がなされていた。

(3) 価格要素審査

事業者選定基準に基づき、応募者から提出された提案価格について点数化を行った。価格点は、表6のとおりである。

表6 価格要素審査結果

(税込)

応募者	Aグループ (代表企業：日立造船株式会社 北海道支社)
上限価格 (円)	15,620,000,000
提案価格 (円)	15,613,400,000
配点	40
価格要素審査点	40.0

(4) 総合的な評価

非価格要素審査点と価格要素審査点を加算し、総合的な評価を行った結果、表7のとおり、高い評価であったことから「Aグループ」を優先交渉権者に選定した。

表7 総合的な評価結果

応募者	Aグループ (代表企業：日立造船株式会社 北海道支社)
非価格要素審査点 (①) 配点：60点	50.0
価格要素審査点 (②) 配点：40点	40.0
総合的な評価点 (①+②) 配点：100点	90.0

5. 総評

本業務は、本施設の基本性能を発揮させ、公害防止基準等を満足しつつ、安全で安定的なごみ処理を継続するものであり、民間事業者の創意工夫による提案を取り入れることにより、経済的かつ効率的な本施設の運営維持管理を包括的に業務委託するものである。

本業務の応募は、1 グループのみからであったが、提案書類の提出を受け、本選定委員会において前述した審査の方法により厳正かつ公正に審査を実施した。

応募者からの提案内容は、創意工夫に富んだ内容であり、広域連合の発注意図を踏まえて経済的かつ安全で安定的な運営が期待できるものであった。

特に安全で安定的なごみ処理に向けて、将来的なごみ減量時における運転計画が具体的に提案されており、経済性を損なわない運転計画においても期待できるものであった。

長期包括運営委託の継続に関する面では、本契約期間終了後、広域連合が本施設の運営を継続することを前提とした維持補修計画が具体的に立案されており、さらには本契約期間終了後を見据え、広域連合への支援内容も十分なものであった。

選定委員会では、あらかじめ公表された優先交渉権者選定基準に則り、厳正かつ公平に審査を行った結果、「日立造船株式会社 北海道支社」を代表企業とする応募者を優先交渉権者として選定した。

今後、本業務の実施にあたっては、以下の事項に十分に配慮したうえで実施されることを期待する。

1. 要求水準書及び提案書に記載された内容を確実に履行するとともに、安全で安定的なごみ処理を実施するために必要となる事項については広域連合と協力し、真摯に対応すること。
2. 広域連合は令和5年度から基幹的設備改良工事を計画していることから、広域連合のみならず、基幹的設備改良工事請負事業者とも緊密に連携し、安全で安定的なごみ処理を実施すること。
3. 地元貢献については、地元企業の活用及び地元雇用のより一層の推進に努めること。

令和3年12月9日

北しりべし広域クリーンセンター次期運営委託業務
民間事業者選定に係る公募型プロポーザル選定委員会
委員長 小林 三樹